

# ファミリー・サポート・センター提供会員



## 市議会

今回はファミリー・サポート・センター（略称ファミ・サポ）の提供会員の皆さんにお集まりいただき、提供会員になったきっかけや大事にしている思いなどについてお話を伺いました。



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

預けるのが悪いと思い、罪悪感があるお母さんもいるので、「そんなことないよ」ともっと周知して、ファミ・サポが広まっていけば

### 〈提供会員になったきっかけは？〉

■孫を預かったときに、怪我や事故が心配になって、ベビーシッターの勉強をした。しばらくして、広報にファミ・サポの話が載ってらという娘の後押しで ■子どもの頃、保育士になりたくて、お手伝いができると思っていた ■幼稚園に勤めていたので、子どもに関わることを何かしたいなと思って

■市のボランティアをしていたときに、ファミ・サポの話をいただいて ■3人の子どもを育て、不思議と手持ち無沙汰になって、何か携わりたいなと思って

### 〈楽しいこと・やりがいを感じることは？〉

■低学年のときは、今日、学校で何があったとか一生懸命お話ししてくれる。高学年になると、あまりしゃべらなくなってしまふこと

### 〈大変なこと・苦勞することは？〉

■2、3年生ぐらいになると、手をつなぎた

がらなくなる。気をつけてと言っても、急に走り出したり、そういうときに、一番怖いです ■活動の前に出かけたら、事故渋滞で混んでしまって、間に合うかドキドキして。活動が入っているときは、予定を入れられないです ■お母さんから聞いているお子さんの姿と、実際に私たちが関わるときの姿が違ったりすることがあり、危なくないようにサポートや声かけをする難しさはありますね

### 〈大事にしている思いは？〉

■一人ひとりのお子さんやお母さんとのコミュニケーションがすごく大事だなと思います ■一週間に一度会える孫みたいな感じだけど、他人のお子さんだから緊張感を持たなければ ■事故や怪我がないように。私は車で移動するので、交通事故がないようにと強く思います ■子どもの気持ちや、お母さんはどんなサポートをしてほしいのかをくみながら、サポートすることを大事にしています

### 〈市議会や市に期待することは？〉

■安価で提供できる部分はあるけど、そのお金を出すのも大変な家庭もあるかと思うので、補助制度があれば ■預けるのが悪いと思ひ、罪悪感があるお母さんもいるので、「そんなことないよ」ともっと周知して、ファミ・サポが広まっていけば



# ● 9月定例会議 議案審議 ●

## あきる野市の こんなことが決まりました。

9月定例会議 会議期間27日間 9月1日～9月27日

9月定例会議の議案は

- 諮問……………1件
- 市長提出議案…25件
- 陳情……………7件
- ※動議……………2件

(撤回した修正動議を含む)

今号ではこの中から7つをPick up

※動議 会議中に予定議案以外の課題等を議員が提出すること

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

〈議案第66号〉 あきる野市学童クラブ条例の一部を改正する条例

### Pickup 1 若竹学童クラブ及び増戸学童クラブを児童館機能付き学童クラブとして整備します。

学童クラブの待機児童解消を図るために、児童館を児童館機能付き学童クラブに転用し、受入れ人数や機能等を拡充します。

こんな質問・意見が出ました。

**Q** 施設の修繕を行うと思うが、どのような改修か。

**A** 学童クラブとして利用するため、東秋留小学校のプレハブ校舎の倉庫部分の改修及び駐車場工事の予定しており、既存施設では、人数が増えることから、2つの学童クラブに下駄箱やロッカーの増設などの工事を予定している。

意見

利便性が良くなること、子どもたちが希望する学童クラブを利用できること、それに併せてしっかりと、支援員や職員を確保していくことが分かった。使いやすくなる学童クラブであればいいと思います、賛成する。



意見

今回の転用で、待機児童解消に加えて、時間の変更等で利便性も向上するところが確認できて良かった。児童館条例の改正も含めて、待機児童を解消するんだという強い思いの下に、子ども家庭部と教育部の皆さんが努力した結果だと思うので、賛成する。

〈議案第68号〉 武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事(債務負担行為)の請負契約の変更について

### Pickup 2 武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事の請負契約を変更します。

土地区画整理事業の進展に伴う現地調査の結果や施工条件の変化等に伴い、工事内容を改める必要が生じたため10億2373万円の契約額に1億9544万円を増額します。

こんな質問が出ました。

**Q** 第1回目の変更では、議会側の指摘で議案説明の内容が事実と異なっていたことが分かり、最終日に訂正と謝罪があった。今回は適切な監理体制が新たに敷かれた上での変更か。

**A** 市、工事請負業者及び設計業務委託業者の3者の連携強化を図り、市職員の増員、工事監督者の入替え増員等により適切な監理体制の下で工事等が順調に進んでいると理解している。

**Q** 市にとって初めての長期間の包括工事契約であるため、従来の契約変更の取扱要領のままにするのではなく、長期間



**A** の包括工事に合わせて見直すべきだったのではないかと。現行の取扱要領では対応が難しいケースも出てきているので、執行プロセスの課題を把握し、要領の見直しや柔軟な運用につなげていくことが必要であると考えている。

〈議案第83号〉 令和5年度あきる野市一般会計補正予算(第6号)

### Pickup 3 50歳以上の人を対象に带状疱疹予防接種費用を助成します。

市内の50歳以上の人を対象に、東京都の補助制度を活用し、带状疱疹予防接種費用を助成し、実費負担額の軽減を図ります。

こんな質問が出ました。

**Q** 対象人数及び接種率の見込は、対象人数は令和5年4月1日現在の50歳以上の人で4万881人。このうちの2%、818人の人が接種する見込みで予算計上している。

**A** 既に治療済みの人も予防接種費用の助成対象になるのか。带状疱疹については、一度発症した人も再発する可能性があり、発症や重症化を予防するため、既に带状疱疹になった人についても、予防接種を受ける日に50歳以上の市民であれば対象にしたいと考えている。

意見

市内の医療機関でなければ助成は受けられないのか。市外で接種した方については、償還払いの形で対応したいと考えている。



### Pickup 4 武蔵五日市駅前市有地活用に向けた補正予算が可決されました。

現在、駐車場として暫定利用している市有地への拠点施設建設に向けて、測量及び設計業務委託料を計上するものです。なお、質疑終了後、辻よし子議員、たばたあずみ議員、松本ゆき子議員及び関口えり子議員から、修正動議が提出されましたが、体裁に不備があったため、撤回の申出があり許可されました。

こんな質問が出ました。

**AQ** 事業総額は、概算で、建物の建築工事費として約2億円、外部工事及び備品購入費を合わせて約1億円、全体として約3億円を想定している。

**A** 当初予算の時点では活用に向けた方針を検討している最中であつたため、具体的な予算は計上していない。今般、市有地活用計画を策定し、計画に基づき、施設整備に着手するため、補正予算を計上した。

理由は、

**Q** 非常にタイトなスケジュールだと思いが、いかがか。  
**A** 施設に導入する機能や規模、またデザインや設計などを勘案して設定しているので、計画している設計の期間の中で実施できるものと考えている。



**Q** 新しい公共施設を建てる事業でありながら、補正予算であ

辻よし子議員、たばたあずみ議員、松本ゆき子議員及び関口えり子議員に反省を求める決議

### Pickup 5 補正予算の修正動議及びその撤回に對し、反省を求める決議が可決されました。

辻よし子議員、たばたあずみ議員、松本ゆき子議員及び関口えり子議員に反省を求める決議が賛成多数で可決されました。一般会計補正予算(第6号)の審議において4人が体裁の整っていない状態で修正案を動議で提出したため、その取り扱いを巡って審議が長時間に渡って中断し、本会議を混乱させ、撤回する事態に至ったことは極めて問題であり、また、事前に議会運営委員会に伝えることなく、水面下で一部の会派にだけ情報提供した公平ではない進め方は、これまでの議会の円滑な運営を無視した不誠実な態度で今後の議会運営に禍根を残すことなどから、4人の議員に対して遺憾の意を表し、今後同じことがないよう強く反省を求める決議です。なお、辻よし子議員及びたばたあずみ議員から弁明の申出があり、議会の同意を受けて、議案に真摯に向きあつた中で起きたミスであることなどの弁明が行われました。

提出者及び賛成者

- 提出者 堀江 武史 増崎 俊宏 清水 晃
- 賛成者 天野 正昭 臼井 建 浦野 治光  
大久保 昌代 国 松 まさき 窪 島 成一  
子 籠 敏 人 中 村 一 広 中 村 のりひと  
原 田 ひろこ ひはら 省 吾 よしざわゆたか

〈陳情第5-10号〉 あきる野市立すぎの子保育園の新規入園児受け入れ停止に関する陳情

### Pickup 6 あきる野市立すぎの子保育園の新規入園児受け入れ停止に関する陳情は不採択となりました。

あきる野市立すぎの子保育園の来年度からの新規入園児受け入れ停止の決定を保留すること及び入園児の募集を続けるとともに、保護者や地域住民と丁寧話し合いを重ねながら、今後の保育園の在り方を検討することを求める陳情は、反対議員が多かつたため、不採択となりました。

こんな質問・意見が出ました。

**AQ** 市長の考えは、説明会における保護者からの意見を踏まえ、決定内容の一部を見直し、全ての年齢の新規の受け入れ停止から、現在園児が不在の年齢の新規の受け入れ停止に変更したいと思ひ、次回の子ども・子育て会議に諮る。

**意見** 市の基本的な考え方、方針は維持されつつ、一部見直されることは良いと思うが、入園児の募集を続けることともに、保護者等と丁寧に話し合いながら、今後の保育園の在り方を検討することは、難しいと思うため不採択と考える。



〈陳情第5-11号〉 市議会議場での国旗及び市旗の掲揚に関する陳情

### Pickup 7 市議会議場での国旗及び市旗の掲揚に関する陳情は採択されました。

国旗及び市旗を市議会議場正面壁などに掲揚することを求めるものです。賛成多数で採択されました。

こんな意見が出ました。

**意見** 憲法等で規定されている議会の有する権能と品位を表す象徴として国旗及び市旗を掲揚することは、二元代表制の下で議会と執行機関との建設的な協議の場である厳粛な議場にふさわしいものであり、既に議場内にある国旗及び市旗を、傍聴席から見ても見やすい場所である議長席後方の壁に掲揚することが妥当と思うので、採択すべきと考える。

意見

陳情者が求める議場の掲揚の方法は、予算も伴う。また、国旗に複雑な思いを持つ人に対しては、威圧的な印象を与えかねないと感じる。現在の設置方法は、様々な配慮の結果の選択であり、現状のまま十分だと考え、不採択すべきと考える。



**プレミアム付商品券事業経費(商工費)  
1億3485万125円**

**Q** プレミアム付商品券の経済効果と市民へのメリットは。また、市民からの声は。



**A** 販売セット数が2万9559セットで、事業者には約3億8200万円の経済効果があり、市民には約8800万円のメリットがあった。概ね肯定的な意見であった。

**Q** キャッシュレスにする意義は。

**A** 事務費削減や新たな顧客獲得の利点などがあるが、デジタルが苦手な市民に忌避感が生じること、ポイントが一部市外に流出することが懸念される。

**Q** フランチャイズ店の利用割合は。

**A** 令和3年度には約26%、令和4年度には約22%で、低下傾向にある。

**ごみ減量化・資源化対策に要する経費(衛生費)  
2917万8671円**

**Q** 資源集団回収奨励金の金額が減少傾向にあるが、資源集団回収の団体数の推移は。



**A** 令和元年度が113団体、その後、コロナ禍に入り、令和2年度が111団体、令和3年度が106団体と減少し、令和4年度は103団体となっている。

**Q** 資源集団回収奨励金の算定基準は、いつから今の単価になっているのか。

**A** 平成21年に要綱の一部を改正しており、アルミ、銅などの金属を1キログラム当たり20円から18円に、それ以外の古紙や鉄などの単価を10円から9円に改めている。

**小学校・中学校維持管理一括経費(施設管理)(教育費) 小学校 1億2995万3493円、  
中学校 9651万1037円**

**Q** 令和3年度と比較すると、修繕の項目も決算額も増えているが理由や市の見解は。



**A** 小学校は約30%、中学校は約倍の決算額となった。主に普通教室のエアコンの不具合により、分解清掃を行ったことによるもの。他に、保守点検等で指摘を受けた機器設備等の計画的な修繕、緊急対応の雨漏りや漏水の修繕が必要となり、補正予算の計上を含め修繕費用が増額となった。今後の学校施設全体の整備については、施設の老朽化に伴う緊急対応も増えているので、適正に対応できるよう努めていきたい。

**地震・台風等災害対策経費(消防費)  
3117万6791円**

**Q** 消費期限が近づいてきた備蓄食料について、市内で活用された割合はどのように変化してきているのか。



**A** 市内で活用できた割合は、令和3年度で約11%、令和4年度で約18%となっている。

**Q** あきる野市でも昨年、フードバンクが立ち上がったが、このような団体をはじめ、市内の団体から未利用品の提供依頼を受けた際は、今後も基本的に対応してもらえるのか。

**A** 市内の保育園施設や生活困窮者に配布するなどの取組をしているので、新たに相談があれば柔軟に対応していきたい。

**令和4年度決算をチェック  
税金の使い方について質問しました。**

皆さんが納めた税金がどのように使われたか——令和4年度の決算は、9月20日・21日の2日間、決算特別委員会で審査し、9月27日の本会議で、一般会計・特別会計の決算が認定され、公営企業会計の決算が可決及び認定されました。決算特別委員会での質疑の内容の一部を紹介します。

**令和4年度各会計決算状況**

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	351億5229万8031円	339億848万7050円
特別会計		
国民健康保険	85億9880万1795円	84億7497万2158円
後期高齢者医療	24億123万5806円	23億7589万6682円
介護保険	73億4810万183円	71億1993万9143円
戸倉財産区	482万6364円	358万1751円
テレビ共同受信事業	2990万2023円	2990万2023円
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業	19億4990万3256円	18億9430万7067円
合計	554億8506万7458円	538億708万5874円
公営企業会計		
下水道事業	収益的収支	19億9356万6506円
	資本的収支*	15億4558万5000円
		19億4652万9148円
		23億7303万7390円

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額(8億2,746万円)は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

**産後ケア事業経費(衛生費)  
388万2370円**

**Q** 利用が増えた要因は。

**A** 産後の支援者がいない心身に不調のある人が多く利用。また、心身に不調のある人は、長期で利用しており、利用件数が増加。



**Q** アンケート結果で見た効果や課題は。

**A** 「授乳状況が安定した」「体を休められた」等の効果があった一方、「宿泊型の利用期間が4か月と短い」「委託事業者が限定される」等の課題があった。今年度は、利用期間を6か月までに延長し、通所型を1施設増やした。

**Q** 利用に際して、敷居を低くするような周知はできないか。

**A** 現在、支援を必要とする全ての人が利用できる事業であることを周知している。

**子どもの学習・生活支援事業経費(民生費)  
878万1575円**

**Q** 市の評価は。

**A** 集合型では、児童・生徒一人ひとりに合わせた支援を行い、ときにはレクリエーションも取り入れ、居場所づくりに貢献している。



**Q** 委託先の契約期間についての市の考えは。

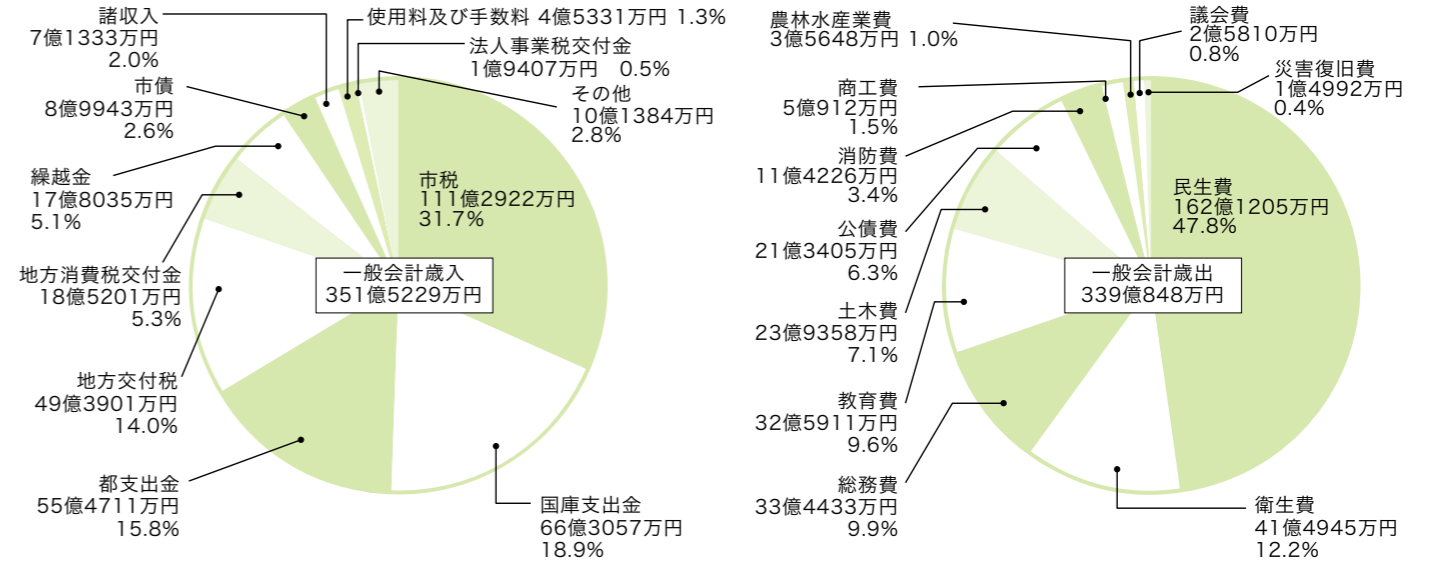
**A** 訪問型では、毎年度、事業者が変わることがあった。今年度から、市が適切と判断した場合は、事業を継続して引き続き契約を締結できるようにした。

**Q** 市内3か所の実施状況は。

**A** あきる野市役所の別館、五日市交流センター、五日市ファインプラザの3か所の参加者の合計は、令和3年度が100人、令和4年度は99人となっている。

## このような理由で一般会計決算の内容に賛成・反対しました。

定例会議最終日に、決算特別委員会で審査した結果を天野委員長が報告し、令和4年度一般会計決算の内容について、全会派が賛成又は反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。



※グラフや表が見やすいように、1万円未満を端数調整して表記しています。

### 日本共産党 あきる野市議団

賛成

新型コロナの影響は税収上ほぼなくなったが、所得割課税標準額 200 万円以下の人が約 64%、市民の暮らしに余裕はなかった。子どもの学習・生活支援事業、若葉第 2 学童クラブ新設、医療的ケア児の受入補助、新型コロナ対策での自宅療養者への食糧支援など高く評価。るのバスの増車とデマンド交通の実験は評価するが、土日運行は検討もされていない。立場の違いを超えた取組を。高齢者緊急通報システムの利用対象拡大と、中等度難聴者への補聴器購入費補助の取組が進まず、大変残念。「非核平和都市宣言」には、広い世代の市民の思いを盛り込むよう要望。不十分な点はあったが、コロナ禍の中で市民生活を守り、より良いものにしようとした努力を評価し、賛成する。



関口議員

### 公明党

賛成

一般会計の市債残高が前年度比で約 11 億 5 千万円減少。財政指標は将来負担比率が 22.1%と、市債の順調な償還によって改善が進んでいる。歳入については、大手企業の進出に伴う固定資産税の増などが要因で増。歳出については、移動困難な高齢者へのタクシー利用助成、高齢者等インフルエンザ予防接種の無償実施など円滑なワクチン接種体制を確保。子育て世帯や住民税非課税世帯等への給付金事業のほか、介護・障害福祉サービス等事業所、交通事業者、ごみ・し尿収集事業者等への補助金交付など物価高騰等の影響に対する様々な対策が講じられたことを評価する。令和 6 年度予算編成にあたっては、業務形態の変化等への的確な対応を強く求め、賛成討論とする。



増崎議員

### リメンバー

賛成

課題は見えるものの、改善を期待して賛成する。本市の財政規模ではその 0.01%でも 300 万円を超える。その使い道には緊張感と説明責任が伴わなければならない。たとえ、投資的な意味合いが強い事業であっても、大義に甘んじてはならない。算出される一件当たりにかかる金額が高いと感じられる事業があり、その金額の妥当性を測るための実態把握も、十分ではないと感じるものがある。私たちは皆、行政サービスという支えを必要としているが、限られた支出の中で最大限の効果が上げられているか。改善の余地がある。この視点は議員である私自身にも向けられるべきこと。議会と市が切磋琢磨してこそ、住民福祉の向上という大きな目標は果たされる。



しょうじ議員

### 明るい未来を創る会

賛成

市税が令和 3 年度から令和 4 年度で 4 億 7734 万 5367 円の増。自主財源確保の努力について評価する。一方、歳出の見直しは必要。予算編成過程について、更なる研究の下、住民への説明責任向上に繋げて欲しい。予見し難い歳出予算の不足に充てる予備費等は、通年議会で、いつでも議会を開ける状態にある。監査委員意見書でも指摘があったが、予備費の充用や予算の流用については更に慎重に進めて欲しい。乳幼児ショートステイ事業が、未就学児にも対応されたことは高く評価。いざという時のセーフティネットは全ての人の支えになる。制度のはざまに落ちない仕組みをつくることで、市長が掲げる、全ての市民が、生き活きと暮らしていけるまちづくりにつながる。



中村のりひと議員

### 自由民主党 志清会

賛成

財政指標は、着実に改善し、市税収入も不動産、株式などの譲渡所得の増加、大規模法人の進出などにより、前年度比 4.5%の約 4 億 7700 万円の増である。事業では、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付、介護・障害・保育施設事業者等への支援、プレミアム付デジタル商品券事業や高齢者生活支援デジタル商品券配布事業などのほか、高校生等以下の医療費の完全無償化の実施を高く評価している。引き続き、武蔵引田駅北口土地区画整理事業、デマンド型交通「チョイソコ」事業や移住・定住促進など人口確保策の推進のほか、秋川高校跡地への企業誘致の取組や公金の債権管理など強固な財政基盤の構築を求め、賛成討論とする。



浦野議員

### くさしぎ

反対

市の事業の原資は税金であり、使途については透明性が求められる。商店街リノベーション支援事業は、1 日当たり 5 万円とされる人件費について実質的な内訳が明らかにされず、2 年間で計 1500 万円の委託料の妥当性を審査することができなかった。JR 東日本に支払われた秋川駅駅舎修繕費負担金約 5700 万円については、JR からの情報不足により積算方法に不透明な部分が残った。毎年発行される事務報告書は、税金を原資にした事業の成果を市民に伝える重要な資料だが、五日市まちづくり協議会に関する活動は同類の活動が掲載されていないにもかかわらず、なぜかどこにも報告されていない。税金の使い道に不透明な部分が残らないよう努めていただきたい。



辻議員

聞いてみたいな  
こんなこと



# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20人 質問項目 47件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継」を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

## 公共施設におけるWi-Fi環境について



国松まさき  
(自民党志清会)



Q GIGAスクール構想に基づき、市内小・中学生全員にタブレットが配布されている。

A 宿題におけるタブレットの使用状況と今後の方針は。今年、16校中11校が夏休みにタブレットを持ち帰らせ、各児童・生徒の実態に応じた課題を出した。今後は、

自分専用の文具として日常的に使えるよう活用を推進し、家庭学習では自らの課題に対し、創意工夫して取り組むツールとしての可能性を模索する。

Q 本市の図書館におけるWi-Fi環境は。

A 中央図書館と東部図書館工事は整備済み。五日市図書館と増戸分室も検討したが、問合せ状況から判断し整備に至っていない。引き続き利用者の声に耳を傾けていく。他に移住・定住促進策、森林環境整備について質問した。

Q 本市の学童クラブにおけるWi-Fi環境は。

A 現在未整備だが、家庭と同様の環境を整える必要があると認識し、情報収集、課題抽出に取り組んでいる。



窪島成一  
(自民党志清会)



## 認知症施策について

Q 認知症の理解を広く伝えていく手段として、認知症サポーター養成講座があるが、多くの認知症サポーターが意識を持ち続けていくためには、講座受講後の取組も必要と考えるがいかがか。

A 受講者には認知症支援の目印としてオンラインングを渡しサポーターとしての意識を持ってもらうほか、認知症月間である9月には、サポーターの役割や認知症に関する情報を発信している。

Q ターでは常時開催しており、昨年度の利用者は延べ582人。

A 3年後には65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症になると推測され、見守り事業者が更に増えていくことが望まれるが、今後の取組は。

Q 認知症の人が、ますます増えていくと見込まれているが、認知症の人やその家族を地域で支える取組である認知症カフェの開催状況や利用状況は。

A 毎月第1、第3金曜日にルピアで認知症家族の会を開催している。昨年度の利用者は延べ220人。3つの高齢者在宅サービスセン

Q 見守り事業者を増やすことが重要であると認識している。緩やかな見守り事業については、あきる野商工会に協力してもらう等、協力事業者の増加に向けて周知啓発に取り組んでいく。

A 他に生涯学習事業の実施状況等について質問した。

## 高齢者介護・福祉の充実に ついて



原田ひろこ  
(公明党)



Q 超高齢社会を迎え、今後も介護・医療の需要の増加が見込まれる。

A 介護申請から認定結果の通知までの期間について、本市の状況は。

Q 令和5年6月の平均日数は53日。令和2年度は33日、令和3年度は35日、令和4年度は41日。

A 専門性の高い人材の確保、介護保険の根幹をなすケアマネジメントを担うケアマネジャー、地域の認知症ケアの質の向上を担う認知症介護指導者研修も、市の補助事業として検討しては。

Q 市民や介護事業関係者等からの問合せや意見、介護サービス利用への影響は。

A 早期に結果通知を求める市民の声や、ケアマネジャーから「認定結果が出るまで暫定的なサービスを利用することになり、サービス利用を控えている状況がある」と聞くと考える。

Q 他に奨学金返還支援制度の取組、インクルーシブ教育の推進について質問した。

Q 直ちにメニューへの追加は考えていないが、介護保険事業計画策定委員会、介護保険推進委員会などに意見を伺い、介護人材の確保、育成について、検討していく必要があると考える。

Q 他に奨学金返還支援制度の取組、インクルーシブ教育の推進について質問した。



他に奨学金返還支援制度の取組、インクルーシブ教育の推進について質問した。

Q 他に奨学金返還支援制度の取組、インクルーシブ教育の推進について質問した。



※インクルーシブ教育 国籍や人種、言語、性差、経済状況、宗教、障害のあるなしにかかわらず、全ての子どもが共に学び合う教育のこと。

## 網代地区の現状について



よしざわゆたか  
(自民党志清会)



令和3年12月25日から、網代橋が2度目の通行止めとなり1年半以上が経過した。遠回りを余儀なくされていた児童の通学に対し、令和4年10月より通学送迎バスの運行が開始され、現在に至っている。また、今年度、網代橋本体についても、撤去のための設計委託費が予算計上され、さらには網代地区の住民で組織された網代橋架橋等促進委員会において住民の意思統一のために協議を行っている。

**AQ** 通学送迎バスの利用状況は、運行開始当初は28人の児童が利用。令和5年7月末時点で25人が利用。原則登校時は2便、下校時は3便。

**Q** 網代橋に関する市と住民の意思疎通は。

**A** 市では、網代橋架橋等促進委員会との協議を通じて、網代橋復旧の在り方に係る網代地区住民との意思疎通を図っている。進捗状況としては、令和5年4月に開催された役員会で、橋の撤去設計委託から撤去工事までのスケジュールを報告した。令和5年7月に、市から委員会に復旧案として、3案を提示している。

**AQ** 3案の内容は。  
人道橋1案と、幅員の違う車両橋案2案。



## 南秋留小学校周辺の安全対策について



白井 建  
(自民党志清会)



南秋留小は近くにレッドゾーン(土砂災害特別警戒区域)があり、市内の学校の中で最も安全性に不安がある学校である。そのため、同校への避難に躊躇(ちゅうちゅう)する住民が多く、雨間地区の防災計画作成に支障が出ている。市は安全対策について、今後どのように取り組むのか。東京都西多摩建設事務所に對し、急傾斜地崩壊対策事業の相談をしている。

**A** 現在の道路構造などを確認した上で、秋川消防署の意見を参考に、市の関係部署において検討したい。

**Q** 地区防災計画、個別避難計画、福祉避難所の整備について、市の検討状況は。

**A** 地区防災計画の作成については、引き続き支援をしていく。個別避難計画と福祉避難所の整備は進んでいないが、関係部署と連携して進めていきたい。

**A** レッドゾーン箇所が崩落して道路が寸断された場合、消防車などの緊急車両は学校へ行くことができるのか。できない。安全な所まで車両を侵入させ、その先は徒歩による活動等、状況に応じた救助活動を実施する。

**Q** 市内小・中学校の中で緊急車両のダブルルートが確保されていないのは南秋留小



## 関東大震災発生後100年を契機とした防災力の向上について



中村 一広  
(自民党志清会)



今年、1923年に発生した関東大震災から、100年の節目に当たる。災害に備える機会として、国や東京都でも、様々な防災イベント等が実施されることから、一人ひとりの防災意識の向上が図られることが期待されている。

**A** 市では、町内会・自治会が取り組む防災訓練に対し、コミュニティ事業交付金を交付するとともに、炊き出し訓練で使用している食料を提供。また、地域防災力の向上を図るため、地域の消防団が訓練に参加している。

**Q** 今年度の本市の総合防災訓練の内容は。  
**A** 11月19日に西秋留小学校において、防災機能の体験訓練、避難所運営訓練、放水訓練などを想定している。

**Q** 市内各地域で行われる防災訓練に対する支援は。



他にプログラミング教育について質問した。

## 武蔵五日市駅前市有地活用計画について



松本 ゆき子  
(共産党)



**Q** 武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)を作成する前に、まずは市民への説明会を行うなどし、広く市民の意見を聞き、また、現時点での資料調査を行った上で、計画案を作成すべきだったと考えるが、いかがか。

**Q** 計画内容・財源等を市民に丁寧に説明する場を設けるべきと考えるが、いかがか。  
**A** 本計画案を市ホームページや図書館、情報公開コーナーで閲覧できるようにして市民に周知し、パブリックコメントで意見を求めた。

**Q** 同市有地の地域特性に大きな変化がないことから、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による市民団体からの意見を参考に、民間活力、地域が主体となる取組など、今後の課題への対応を整理して取りまとめたものである。

**Q** 計画を一旦白紙に戻し、市民と意見交換をしながら計画案を策定してはいかがか。  
**A** 立ち止まることなく情報発信しながら進めていきたい。他に介護保険について質問した。

**Q** 憲法九十二条の地方自治の本旨に基づいて計画案が策定されていないか。ことに、市長の見解を伺う。合意形成を図るため、パブリックコメントを通じて市民の意見を求めた。



## 学童クラブでの昼食提供について



子籙 敏人  
(自民党志清会)



**Q** こども家庭庁は6月、学童クラブにおける食事提供についての事務連絡を行い、7月には夏休みなどの長期休暇中に全国の学童クラブが昼食を提供している状況の調査結果を公表した。国はこの調査により把握した全国の好事例をまとめ、自治体へ周知していく方針も示しているが、市はこれらどのように受け止め、今後どう対応していく考えなのか。

**A** 市では、国から調査結果及び好事例集の送付を受け、学童クラブにおける長期休業期間中の昼食提供は、保護者の負担軽減につながる施策の一つであり、一定のニーズがある取組であると

**Q** 今後のスケジュールについて、ぜひ加速度的に進めてもらいたいが、見解は。

**A** 保護者へのアンケートにより、ニーズを把握でき次第、対応できる事業者を探していきたい。

他にChatGPT\*の活用、職員の名札、空調服の活用について質問した。



## 熱中症予防のためのエアコン購入支援について



関口 えり子  
(共産党)



熱中症予防には、こまめな水分摂取とエアコンの使用が不可欠である。そこで熱中症から市民の命を守るための本市の取組について伺う。

**Q** エアコンの購入に関する市民からの相談は。

**A** 生活の困りごとや不安を抱えている人に対する相談窓口を設置しているが、エアコンの購入に関する相談を受けたことはない。

**Q** 生活保護受給者でエアコンがない世帯数は。

**A** 生活保護受給世帯においては、世帯台帳にエアコンの有無を記録する必要がないことから把握していない。

**Q** 低所得世帯へのエアコン購入・設置費用の助成を検討する考えはあるか。

他に子ども食堂への公的な支援について質問した。



\*ChatGPT(チャット GPT) 対話型の人工知能(AI)

## 市役所本庁舎の安全対策について



堀江 武史  
(自民党志清会)



市役所本庁舎は建築後20年を経過した。所々劣化による不具合が生じている。立入禁止の場所が設定されているのも、その影響だと聞いている。来庁者や職員が安全で安心できる場所でないければならない。

**Q** 庁舎の設備点検はどのように行っているのか。また、どの程度の頻度で点検を行っているのか。

**A** 庁舎管理の業務委託の中で仕様書に基づき、目視や触診等により各種設備の日常点検を毎日実施。また、専門業者が電気、空調、給排水、防災設備等の定期点検を年に1回から2回実施。建築基準法等の各種法令に

義務付けられた法定点検を含む定期点検を年に1回実施

**Q** 来庁者や職員が安全で安心して通行できるようにしてほしいが、立入禁止の理由と現在の検討状況は。

**A** 電動ロールスクリーン作動時に、サポート用のパイプが外れ落下し立入禁止にした。経年劣化しており、全てを撤去し、更新を検討中。現在、工事費の算定を進めており、工事は、来庁者の安全面に配慮した上で、できるだけ早い時期に行いたい。

他に市に対する苦情について質問した。



## 保険証廃止の問題点について



たばたあずみ  
(共産党)



**Q** マイナ保険証の利用に際して、トラブルの報告があるか。

**A** 全国的には、読み取れないなどのトラブルが起きていることは承知しているが、現時点で市内の医療機関からトラブルの報告等を受けたいことはない。

**Q** 問題を残したままの拙速な保険証廃止はすべきでないかと、市長として国に意見を言ってほしいがどうか。

**A** マイナ保険証への一元化は一日も早くやるべきだと考えている。デジタル化のメリットはたくさんあり、システムが変わる際には、多少のトラブルは仕方ないと考える。

他に生理の貧困問題、公共交通の充実について質問した。





## 熱中症対策について



大久保 昌代  
(公明党)



猛暑が続く中、熱中症による救急搬送者が全国で1万人を超えるなど、熱中症対策が重要だ。本市における熱中症対策について伺う。

**Q** 一般市民が、公共施設や民間施設をクーリングシエルトとして利用できるようにする取組を行う予定は。

**A** 市民の熱中症リスクの軽減を図るため、民間事業者の理解を得ながら、設置に向けた取組を進めていく。

**Q** 交通安全活動中の学校安全ボランティアを熱中症から守るための取組は。

**A** ボランティアに対して熱中症の対策は講じていないが、活動に当たっては、無理のない範囲での協力をお願いしている。

**Q** 消防団員の暑さ対策を図れる装備品等を検討しているかがか。

**A** 空調服と同様に、冷却ベストとヘルメットファンについても、導入の効果や着用の場面など、先進自治体の事例を参考に、消防団の意見を踏まえて検討していきたい。

他に自治体DX推進のための取組について質問した。

## 町内会・自治会への支援策の強化について



浦野 治光  
(自民党志清会)



**Q** 各町内会・自治会の維持発展に向けて、活動を支える支援策を強化する必要があると思うがどうか。

**A** 現在、町内会・自治会運営費補助金などを交付するほか、新任会長向けの研修会の開催など、主体的に活気ある活動に取り組めるよう支援している。

**Q** 町内会・自治会の加入率低下などにより、運営費や維持費の補助内容の見直しも必要と考えるがどうか。

**A** 町内会・自治会の規模により、運営費や人員の確保に苦慮することも想定されるため、町内会・自治会の意見や要望を聞き、必要に応じて見直しを検討する。

**Q** 現行の補助制度を使い易く、負担軽減につながる見直しのほか、運営に係る備品や設備の購入などの補助制度

の創設も必要と思うがどうか。

**A** 町内会館・自治会館建設費等補助金は、令和6年度から補助基準額を60万円から15万円に引き下げる。備品等の購入は、コミュニティ事業交付金の活用などを提案している。今後、補助制度の見直しや新規補助制度の対応は、町内会・自治会からの意見や要望を聞き検討する。

他に公共施設等総合管理計画の推進について質問した。

## 食品ロスの削減について



増崎 俊宏  
(公明党)



食品ロスの削減の推進に関する法律が成立し来年で5年となるが、目標の達成は未だ見通せない状況という。

**Q** 昨年度に本市が行ったごみ組成分析調査の詳細は。

**A** 収集地区ごとに、地区内の一定エリアから回収した可燃ごみ及び不燃ごみについて47の種類別に分類し、その割合を調査した。可燃ごみの調査結果では、生ごみが全体の約43・1%。その内、食品ロスである未開封食品、食べ残しが約9%。

**Q** 事業所用ごみの調査は行ったのか。

**A** 一部は市で収集している物もあるが、事業者が独自に

処理している物もあるため、全体像がつかみづらい状況もあり、調査していない。

**Q** 協力店舗が売れ残り商品や食品ロスになりそうな食品を安く出品することにより、市民が安く欲しい商品を購入することができるフードシェアリングサービスを導入する事例が増えている。近隣の状況及び本市の見解は。

**A** 八王子市で54店舗、東大和市で11店舗、その他小金井市で導入している。事業系の食品ロスを減らしていくことは、当市にとっても課題であると認識している。あきる野ごみ会議などの意見等を聞きながら検討していく。

他にひとり親家庭への支援について質問した。

## 公共施設を利用した学校プール授業の実施について



ひはら 省吾  
(自民党志清会)



学校プール授業は、施設の老朽化や気象変化等により、全国的に校外の屋内施設を利用した取組が行われているが、本市の今後のプール授業の在り方について伺う。

**AQ** 市内学校プールの現状は。経年劣化により、必要な維持や補修を行っている。また、維持管理の費用面、天候に左右されるなどの課題から、プール授業の在り方について検討を進めている。

**AQ** 市営プールの状況は。五日市ファインプラザ、市民プール及びいきいきセンターの3つの屋内プール施設があるが、築年数による老朽化の課題への対応が必要。

**Q** 小・中学校のプールを使用した授業の状況は。

**A** ほとんどの学校で、6月の終了までに計画した時数の指導を行った。

**Q** 公共施設、民間施設を利用した場合の課題は。

**A** 施設を貸し切って授業をするにあたり、一般利用者の理解や一般利用者の減による利用料収入の落ち込み、移動方法等が課題として考えられる。

他にデマンド型交通チャイソコについて質問した。



## 武蔵五日市駅前建設予定の拠点施設について



天野 正昭  
(自民党志清会)



建設予定の拠点施設について、地域住民の中でも関心が高まり始めた。

**Q** 施設の規模、コンセプト、主な施設の内容等は。

**A** 本拠点施設は、市有地活用計画の基本理念を実現するため、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入する。床面積は約400平方メートル、整備費用は施設整備と外構工事を合わせて約3億円を予定し、民間事業者の提案により具体化する。

**Q** 地域経済や雇用にどのような影響をもたらすと予想するのか。

**A** 交流人口、関係人口、定住人口の増加やまちづくりを担う人材の発掘に寄与し、さらに、秋川渓谷等の魅力を伝え回遊性や滞在性を高めることで、地域経済や雇用に良い影響を与える。

**Q** 開設に伴う周辺への影響、特に交通渋滞の緩和策についての考え方は。

**A** 100台程度収容できる駐車場機能は残し、日常的な需要は賄えると認識。供給量を上回り周辺地域に影響が出る場合は対策を検討する。

他に獣害対策について質問した。



## 五日市地区の活性化における合意形成と公平性について



辻 よし子  
(くさしぎ)



**Q** 五日市駅前市有地について、市長は就任直後に、令和7年度の活用開始の指示を出している。その時点で既に、市長が議員時代に立ち上げ、市長との関わりが非常に深い団体からの提案を受けて進める話になっていた。市長として公平性に対する自覚が足りないのでは。

**A** 辻議員が調べた仮説の中で公平でないと言われているが、私は別に公平ではないことをやっているつもりはない。

**Q** 瀬音の湯レストランの委託業者選定において、審査資料には不思議な点が多く出来レースの疑いが強いと言わざるを得ない。首長として、また、新四季創造株式会社の社長である市長として事実確認を行うべきでは。



## 新型コロナウイルスワクチン接種について



しょうじ さとし  
(リメンバー)



**Q** ワクチン接種のリスク面においても、行政として積極的な発信が求められる。ワクチン接種後の若い世代の心筋炎・心膜炎の死亡例への認識は。

**A** 副反応として、心筋炎や心膜炎を疑う事例が厚労省において報告されているが、死亡例については、因果関係が評価不能とされていることから、市としてお答えすることはない。

**Q** 国の薬事審査を終えた薬害について、安全と言われながら健康被害が生じ、裁判で勝訴している事例があるが、そのことの認識は。

**A** 今回の新型コロナウイルスとこれまでの薬害訴訟の関係については、市として関連づけて考えることはしていないので、事例を紹介する必要はないと考える。

**Q** 全国で接種に関して反対をしている団体や声明があると思うが、把握しているか。具体的には把握していない。

**A** リスク面を発信している先進的な自治体に学び、発信の仕方を見直すなど検討できないか。

**A** ワクチン接種により感染者数や死亡数を抑制できていると認識。有効性や効果、副反応、健康被害救済制度等の情報について周知を図りながら、接種を促進する。

他にあきる野市・日の出町新学校給食センター共同整備について質問した。



## 武蔵五日市駅前市有地活用計画について



中村のりひと  
(明るい未来)



**Q** 住民との合意形成のため、パブリックコメント条例の制定をしてはいかがか。現段階においてパブリックコメントに関する条例の制定は考えていない。

**A** 説明責任、これがこの事業を進める上で最も大切。新たなハードを建てることで、市内公共施設の在り方に大きな影響を及ぼすのは間違いない。五日市地区の公共施設の在り方についても住民から色々な意見が出てくる。住民への説明責任は為政者として必須であり、民主主義の基盤である。市長が公約に掲げた事業を実施するためにも、対話と情報公開は説明責任に繋がる。この事業をどのように進めていくか。

**A** 計画の基本や理念の部分は変わることはないが、様々な場面で寄せられる意見に

対して、採用できるできないはあるが、できる限り反映させたい。タウンミーティングは9月議会が終わるとすぐに始まるので、その時点では設計のイラスト等はないが、できるだけ分かりやすく説明していきたい。市の広報等でも、イラスト等が出てきたら、具体的なことが分かるように、市民に丁寧に説明する。秋川流域らしい駅前計画を着実に、かつスピーディーに進めたい。

他に医療的ケア児等について質問した。



No.2

議会運営委員会行政視察

議会運営委員会では、7月13日・14日の日程で、岐阜県可児市及び愛知県知立市において、オンラインを活用した議会運営についての行政視察を実施しました。

委員 天野正昭 大久保昌代 浦野治光 子籠敏人  
 たばたあずみ 中村のりひと ひはら省吾

YouTubeを活用したインターネット放送や議会活動の完全なバーレス化の実現及び会場とオンラインで同時に行う議会報告会の開催などについて学び、市議会が、令和3年9月定例会議から導入しているタブレット端末を含め、更なるICTの活用などに対する知見を得ることができました。



No.1

総務委員会行政視察

総務委員会では、7月5日・6日の日程で、宮城県栗原市において、災害対応・復興状況及び移住・定住についての行政視察を実施しました。

委員 白井建 たばたあずみ 浦野治光 清水晃  
 中村一広 原田ひろこ 村野栄一

岩手・宮城内陸地震や東日本大震災を経験した栗原市の災害対策への取組や復興状況及び10年前から取り組んでいる移住・定住施策などについて学び、市が取り組んでいる防災対策や今年から力を入れ始めた移住・定住施策に対する知見を得ることができました。



他に竹パウダーを使用した農業振興及び財政状況について質問した。

今後、枯れたナラの木による、通行する人や車への被害、河川環境への影響等が考えられるが、その対応は、今年度から、樹木の所有者や管理者が行う薬剤の樹幹注入等による防除対策及び枯死等により人身、家屋等に危害を及ぼす恐れがある危険木の伐採に対する補助制度を開始した。道路等に影響を及ぼす可能性がある場合には、道路管理者等と情報共有を行うなど、連携した対応を行っている。

ナラ枯れについて



清水 晃 (明るい未来)



ナラ枯れの原因と対策は。カシノナガキクイムシという昆虫がナラ菌という病原菌を木の中に運び込むことにより引き起こされる。対策は、虫の侵入を防ぐ予防や、侵入した虫を取り除く駆除による防除と、樹木の伐採が有効である。

今後、枯れたナラの木による、通行する人や車への被害、河川環境への影響等が考えられるが、その対応は、今年度から、樹木の所有者や管理者が行う薬剤の樹幹注入等による防除対策及び枯死等により人身、家屋等に危害を及ぼす恐れがある危険木の伐採に対する補助制度を開始した。道路等に

主な議案等に対する会派の賛否一覧

議案等番号	件名	議決結果	自由民主党 志清会 (11人) ※1	公明党 (3人)	日本共産党 あきる野市議団 (3人)	明るい未来 を創る会 (2人)	くさしぎ (1人)	リメンバー (1人)
議案 66	あきる野市学童クラブ条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
議案 68	武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事（債務負担行為）の請負契約の変更について	可決	○	○	×	○	×	○
議案 83	令和5年度あきる野市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	×	○	×	×
陳情 5-10	あきる野市立すぎの子保育園の新規入園児受け入れ停止に関する陳情	不採択	×	×	○	×	○	○
陳情 5-11	市議会議場での国旗及び市旗の掲揚に関する陳情	採択	○	○	×	×	×	×
動議	辻よし子議員、たばたあずみ議員、松本ゆき子議員及び関口えり子議員に反省を求める決議	可決	○	○	除	○	除	×

※1 議長は賛否に加わらない。

○：賛成 ×：反対 除：除斥

あきる野市議会活動レポート

7件の陳情が提出され3件について陳情者とその趣旨や思いを委員に対し述べました。

- ・第8期介護保険事業最終年度末における介護保険給付準備金保有額の第9期介護保険事業計画への繰入についての陳情
- ・健康保険証の存続を求める陳情書
- ・「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書提出」を政府に送付することを求める陳情書
- ・「消費税インボイス制度の2023年10月からの実施について再考を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書
- ・指定管理者に係る違法条例条項の改正を求める件

※上記5件は全て不採択。ほか2件は7ページ及び22ページに掲載しています。

西多摩地区議長会議員研修会



10月2日に西多摩地区議長会議員研修会が長岡コミュニティセンター(瑞穂町)で開催され、議員が参加しました。丸山 正美氏(総務省消防庁消防団等充実強化アドバイザー)を講師に、「カッコいい消防団員～消防活動の充実と充足率の向上～」をテーマに研修を行いました。